

福井県公共工事入札監視委員会の開催概要について

このことについて、令和5年度福井県公共工事入札監視委員会（第1回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 令和5年7月21日（金） 9：30～11：00
- 2 場 所 県庁10階 審問廷
- 3 出席委員 荒井委員、樫尾委員、清水委員、藤井委員、三寺委員（五十音順）
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 議題
 - 1 入札および契約に係る制度の運用について
 - 2 抽出事案審議
 - (3) その他
 - (4) 閉会

5 会議概要

(2)-1 入札および契約に係る制度の運用について（令和4年10月1日～令和5年3月31日）

- ・ 契約件数、落札率の状況について説明
- ・ 指名停止の運用状況について説明
- ・ 総合評価落札方式の実施状況について説明

Q 11月から土木一式の不調が増えている原因は何か。

A 令和4年8月の大雨災害の影響で（本復旧工事が増加した）奥越土木で不調が多く発生した。勝山・大野の業者に発注をかけたが、災害が起こった勝山での工事であり、大野の業者は手控える傾向があった。勝山の業者はAランクで10者ほどしかいない。そのなかで多数の工事を発注したので技術者不足が不調の大きな原因と分析している。

また、他の原因として下請け業者の調整が間に合わなかったことや大型ブロックの供給が不安だったということがある。大型ブロックについては価格が上がっていたということで特別調査を実施し、今年の2月15日に価格を改定している。

今回の不調は奥越土木だけの問題ではなく全体の問題と捉え、入札参加対象等級の拡大や業者の採算性がとれるような工事の組み合わせでの合併入札やフレックス方式の活用なども行った。また、建設業法の改正で令和5年1月1日より主任技術者の専任が必要となる建設工事の請負代金が3,500万円から4,000万円に引き上げられている。

このような対策の結果、奥越の不調は解消している。現在復旧に向けて工事を進めているところだ。

Q 令和4年度の1者応札が増えている原因は何か。

A これも災害による影響が原因であり、奥越土木で1者応札が多かった。

Q (株)高野組が12月1日から指名停止になっている。いっぽう、当該業者と工事の随意契約をしているが、契約日が処分開始日より前だから、工事期間中は指名停止中でもそのまま工事をしていいのか。

A おっしゃるとおり。

(2)-2 抽出事案審議

ア 抽出事案 1

Q 実績評価型ではなく地域防災力維持型とした理由は。

A 基準を定めている。土木一式工事では橋梁上部工や下部工などの特別な工事は実績評価型とするが、それ以外の比較的技術的な工夫の余地が小さな工事は地域防災力維持型とする。

イ 抽出事案 2

質問なし

ウ 抽出事案 3

Q 豪雨による影響のあった箇所の工事だが、随意契約にしなかったのは急ぎではなかったからか。

A (随意契約で) 応急復旧はしており安全対策はしている。測量設計を委託し、工法を検討してから本復旧である当該工事を発注した。

エ 抽出事案 4

Q 公共建築課と学校の工事発注のすみわけはどうしているのか。

A 金額や工事の規模で役割分担する。改修や移設の本体工事は公共建築課が発注し、それに伴う設備の移設は学校で発注する。

Q 校長はかいの長となるのか。

A そうだ。

オ 抽出事案 5

Q RCCMとは何か。

A 一般社団法人 建設コンサルタント協会が主催する民間の資格である。

Q 洗堀とはどういう意味か

A 波や水の流れによって(堤防の表方面の土が)削られていく現象をいう。